

第22回播磨考古学研究集会

# 「播磨の中期古墳」

世界遺産に登録された古市・百舌鳥古墳群の時代は、播磨においても壇場山古墳や玉丘古墳などの大型前方後円墳が築かれます。同時に、大型円墳や中小規模の古墳等も増加し、古墳築造層の広がりとともに豊富な副葬品も知られています。

第22回研究集会は、これら播磨の中期古墳を網羅的に検討し、「倭の五王」との関係をはじめ、古墳築造が表す政治動向の歴史的文脈を読み解きます。

★今回は事前に下記ウェブサイトへ参加申込手続きが必要です。6月20日から先着順。

日程：2022年7月24日（日）10：00～

会場：姫路市教育会館（兵庫県姫路市飾磨区清水2丁目128）

参加：当日1000円（資料代込み）。ウェブサイトへ申込必要。定員有。

開会：10：00（開場9時10分～）申込受付簿と対照の上、入場いただきます。

## 【基調講演】

10：10～「古墳時代中期の政権構造について」田中晋作（山口大学）

## 【報告】

11：30～「北播磨の中期古墳―玉丘古墳群を中心に―」藤原光平（加東市教育委員会）

昼休憩（12：00～13：00）

13：00～「西播磨の中期古墳とその特徴」山中良平（赤穂市教育委員会）

13：35～「古墳時代中期における東播西部の古墳築造動向」平尾英希（加古川市教育委員会）

小休憩（14：05～14：25）

14：25～「東播東部地域の中期古墳と出土品の再整理報告」中久保辰夫（京都橘大学）

## 【シンポジウム】

15：10～「古市・百舌鳥古墳群と古墳時代中期の播磨」

（報告者4名＋会場参加者、聞き手：田中晋作）16：40終了予定

※当日資料集は、講演・報告資料に加え、播磨の中期古墳を集成しています。

【ご注意】コロナ禍、発熱等体調不良の方は参加をご遠慮ください。また、検温、会場の机は二人掛け、マスク着用や手洗い消毒など、ご協力をお願いします。

なお、コロナ禍の状況によっては開催内容に変更が生じることがあります。ウェブサイトを確認してください。

[播磨の考古学](#) 🔍 検索。参加申込はこちらから。

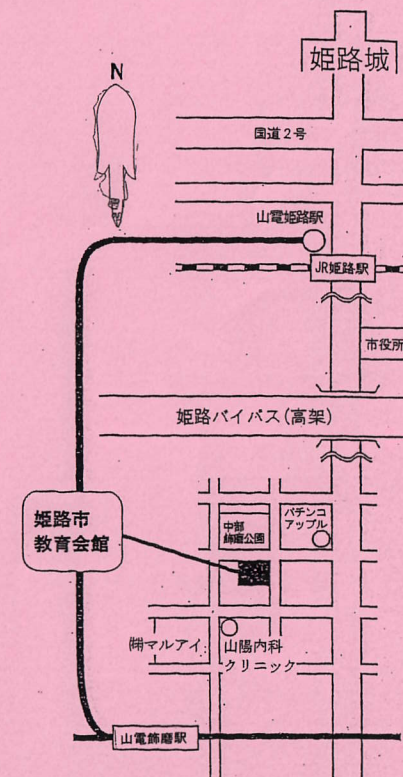
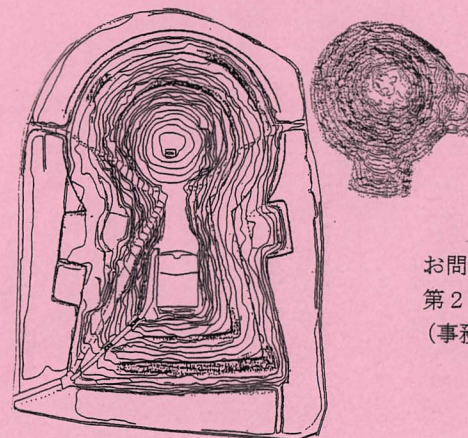
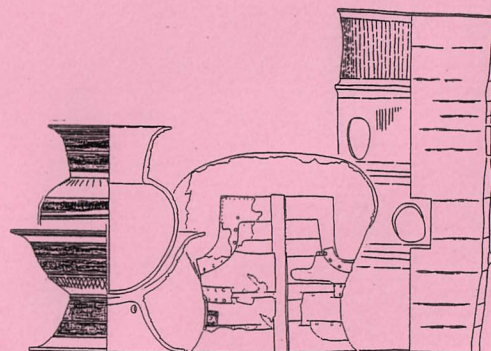
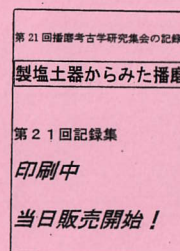
## 新刊！当日販売開始

第21回記録集『製塩土器からみた播磨』（予価1000円）

瀬戸内海に面した播磨で製塩土器は何を語るか？生産と流通の歴史を探った研究集会当日の講演・報告の書き下ろしとシンポジウムの記録です。

第19回『須恵器生産からみた播磨』1000円。在庫25冊

第20回『土器からみた3世紀の播磨』1000円。在庫58冊



山陽電鉄飾磨駅下車、東口から北東へ徒歩約10分。駐車場は狭小です。公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ

第22回播磨考古学研究集会実行委員会

（事務局：090-3675-5125）

※電話での参加申込はできません。

[播磨の考古学](#) 🌐 ウェブサイト

<http://harima-arch.studio.site>

